

なすび

目次

1 p	園長挨拶
1 p~3 p	職員紹介
3 p~4 p	行事報告
4 p	部活動報告
	今後の予定
	編集後記

栃木県那須学園
〒329-2132
矢板市沢800
TEL 0287-43-0573
FAX 0287-43-6886
メール nasu-gakuen
@pref.tochigi.lg.jp
発行日 令和3年6月28日

特集

新たな職員、分校教員を迎え、

新体制で令和三年度のスタートを切りました。職員ひとりひとりの挨拶から、今年度の「なすび」を始めさせて頂きます。

◎令和三年度を迎えて〜園長挨拶〜

大島 登

この四月に定期人事異動で園長になりました大島です。児童相談所への勤務歴はあるものの入所施設は初めてです。栃木県那須学園は田園地区の自然豊かな環境下にあり、明治四一年に感化院として開設されてから一〇年を超える歴史を物語るように、七ヘクタールに及ぶ敷地内には水田をはじめ季節ごとに装いを変える樹木や花々に彩られています。ここは、養育環境に恵まれない様々な困難を抱える子供達が、整えられた環境下で生活に係わる指導や学校教育を受けながら集団生活を通して自立に向け成長していく場だと理解しています。

例年五月に開催される地元自治会との合同運動会は昨年に続き中止

せざるを得ない状況でした。関東児童自立支援施設協議会の振興事業として実施していた各種大会（野球、水泳、バレー、卓球、文化祭）も昨年度はすべて中止となり、今後も各種大会の開催や参加に関しては流動的な状況が続くものと思います。

そのような状況下ですが、学園所有の水田においては、子供達や職員らが素足で行う恒例の田植えが無事終了し、今後の生育と収穫が期待される状況になっています。今年度は一六名の子供達とともにスタートしました。子供達がこのでの生活を生かして、今後の人生を力強く歩んでいけるよう、組織の基

本方針である「子どもの権利擁護と人格の尊重」、「子どもの自立支援と保護」、「学校教育との連携・協働」等を常に意識し、関係各位の御指導を賜りながら、職員が一丸となって組織的に支援ができるよう尽力したいと思います。

◎職員紹介

☆総務課☆

菊地 明則（園長補佐兼総務課長）
今年度から総務課長に内部異動しました。長年の育成課を卒業し、新

しい分野での仕事です。生徒とのかわりがほとんどなくなり淋しい限りですが、与えられた仕事を頑張りたいと思います。

川島 陽子（総務課副主幹）

事務を担当して四年目になります。今年度も健康に注意して年度末まで乗り切れるようがんばります。

河又 律子（総務課事務補助）

健康に気をつけて、自分のできる事を一生懸命頑張ります。

藤田 雅美（農場担当）

入職させて戴いて六月一日で一年になりました。今年も基本をしつかり学ぶことが目標です。温かく迎えて下さった先生方や子供達に感謝の毎日です。

☆育成課☆

村岡 一頼（副主幹兼育成課長）

今年から育成課長になりました村岡一頼です。今まで寮で子供達と大騒ぎしながらやってきましたが、今年からパソコンとにらめっこをしています。寮を離れてとても寂しいですが、頑張っていきたいと思っています。

よろしくお願ひします。

石田 博英（男子第一寮長）

今年度から、男子一寮長になりました。みんなが仲良く元気に遊び、毎日笑顔で過ごせるように頑張ります。私も一年間、病気や怪我なく元気に過ごしたいと思います。

島野 紘子（男子第一副寮長）

男子寮に来て二年目です。一年あつという間でした。今年も元気な男の子達の頑張る姿を、身近に応援していきます。よろしくお願ひします。

宇梶 良平（男子第一寮）

学園に戻ってきて男子一寮での生活も二年目になりました。寮職員としても、心理職員としても少しでも子供の力になれるようにがんばりたいと思います。今年度もよろしくお願ひします。

福田 真雄（男子第一寮）

今年度も男子一寮担当となりました。野球部の担当も継続です。子供達に負けないように必死になって駆け抜けていきたいと思っています。寮でも野球部でも正々堂々、直球勝負です。一年間どうぞよろしくお願ひします。

黒川 将希（男子第一寮）

五年ぶりの那須学園復帰、懐かしの一寮です。個人的な目標は、誰よ

りも草刈りで汗を流したいと思っております。寮としての目標は、「感謝の気持ちを持てる人」です。私自身が子供のお手本になれるよう、日々感謝の気持ちを言葉で伝えていきたいです。

塩山 元(男子第一寮)

今年も一寮に勤めることになりました。一一年目になってしまい、自分でも驚いています。先のこととは考えずにとにかく目の前のことに全力投球していきたいと思っています。よろしくお願いいたします。

上坪 聡(男子第二寮長)

今年度、男子第二寮の寮長になりました。男子寮の担当は久しぶりですが、女子寮で学んだことを活かして、更にパワーアップして頑張りたいと思います。一年間よろしくお願い致します。

中島 典昭(男子第二副寮長)

今年度も男子二寮の担当となりました。子供達には大人の不完全さの範を示し、子供達とともに生きていく過程を共有していきたいと思っています。そんな課程のなかでお互いにほっこり”できるシーン”をつくっていききたいです。

石口 謙(男子第二寮)

那須学園での勤務も四年目に入りました。改めて児童指導の難しさを

感じる毎日です。子供達が自分で成長を実感出来るような関わりを目指して、自分も成長できるように頑張ろうと思います。よろしくお願いします。

齋藤 隆(男子第二寮)

四月から男子二寮の職員になりました。子供達と一緒に過ごす時間を大切にしながら、課題と向き合い、成長するお手伝いが出来ればと思います。

野澤 篤士(男子第二寮)

今年度から男子二寮の職員となりました。心理職であることや児童相談所での勤務経験を活かし、少しでも早く寮運営の一助となるよう努力していきたいと思っています。ご迷惑をおかけするかと思いますが、何卒よろしくお願い致します。

馬籠 明子(男子第二寮)

今年度より男子二寮の担当になりました。最近、学園の中で動物の姿を目にすることが度々ありました。木々や花、田畑など、みな心身を支えてくれているように感じています。穏やかに、地に足をつけて、頑張りたいと思います。

齋藤 敦子(男子第二寮)

今年度より男子二寮の担当になりました。一日の生活の流れを早く覚えて、二寮の先生方、子供達とたく

さんコミュニケーションを取りたいと思います。子供達のサポートを自分なりに一つでもできたらと思います。一年間よろしく申し上げます。

白井 聡(女子寮長)

今年度から女子寮長になりました。生徒職員の前では、いい加減なところを出さぬように心がけ、言葉遣い(親父ギャグ)に気を付けて、女子力を高めていきます。よろしくおねがいします。

小鍋 良和(女子副寮長)

女子寮副寮長、バレーボール部監督二年目になりました小鍋良和です。子供達と共に生活する中で、たくさん褒めて、たくさん叱って、力をつけるためには何が必要なのかを一緒に考えていきたいと思っています。一年間よろしく申し上げます。

早川 和美(女子寮)

女子寮担当三年目になりました。水泳部を担当します。子供と共に成長できるよう、今できることを精一杯頑張ります。よろしく申し上げます。

松田 充修(女子寮)

昨年度、関東少年大会に向けて児童指導強化を目的に自分自身の野球バット、卓球ラケットを購入しましたが、今年度からまさかの女子寮勤務。バレーボールは素人ですが、女

子寮の加藤陽一を目指して頑張ります。

片岡 美咲(女子寮)

今年度も女子寮担当になりました。個性が強い子ばかりですので、一人一人に合わせた対応を心がけつつ、気持ちで負けないように頑張ります。また、心理職として何が出来るか自分なりに模索していこうと思います。

根本 義夫(女子寮)

県職員を定年退職し、毎日が日曜日となりました。縁があつて当園にお世話になることになりました。「過去より現在を大切に」をモットーとしています。少しでも児童にプラスになればと願っています。よろしく申し上げます。



☆分校職員☆

藤田 稔(教頭)

今年、赴任してきた教頭の藤田稔です。専門教科は社会です。ドライブが好きで景勝地や史跡、神社仏閣などよく巡ったりしています。一日一日を大切に、子供達の成長をしっかり後押ししていきたいと思っています。

船山 恭介（教務主任）

沢分校勤務二年目となります。コロナウィルス感染症の影響で、昨年度は十分な学習活動もできませんでしたが、今年度は皆さんの御協力をいただきながら運営していきたいと思っております。この原稿を書いている頃は田植えと遠足の行事前。成功させたいです。

植木 香織（国語、家庭科）

分校勤務四年目になりました。国語と家庭科を担当しています。昨年はコロナの影響で家にいることが多かった割に、読書をさぼってしまっていたので、まずは「川端康成全集」読破を目指そうと思います。

君島 剛（数学）

今年度も生徒指導ということで生徒達の分校生活がより充実したものになるよう支援していきたいと思えます。一年間よろしく願います。

芳賀 毅（特別支援）

分校勤務三年目になりました。特別支援・清掃指導を主に担当します。また、部活動は陸上部男子とマラソン部を担当します。二年間の経験を活かしつつ、向上心をもって何事にもチャレンジしていきたいと思えます。よろしく願います。

阿久津 智彦（理科）

今年度赴任し、一年担任で理科を

教えています。右も左もわからない状態で日々奮闘し、生徒と共に成長できればと思っています。一年間よろしく願います。

豊田 悠樹（英語）

今年度、分校勤務二年目になる豊田悠樹です。教科は英語を担当します。英語を通して、人との関わり方や、相手の気持ちを考えたコミュニケーションができるよう支援したいと思えます。どうぞよろしく願っています。

古口 悟史（社会）

今年度二年生の担任となりました。授業は二・三年生の社会科を担当します。また、分校の農園担当、遠足、海浜担当、生徒会担当として様々な行事に関わってまいります。どうぞよろしく願っています。

岸 直子（養護教諭）

今年度、分校に赴任してきた養護教諭の岸直子です。白衣でなく、ジャケットを着ることが増え、とても動きやすい毎日です。生徒のみなさんが心身とも成長し、変容した姿がみられるよう支援していきたいと思えます。

石栗 幸枝（音楽）

今年度は音楽も担当することになりました。音楽の楽しさを感じてもらえるよう努力していきたいと思

ます。よろしく願います。

アラン（ALT）

昨年一二月から学園でALTとして英語を教えているアラン・キャンベルホーカーです。今年度は、昨年よりも分かりやすく教えられるよう腕を上げたいです。教師として良い見本になりたいです。

☆行事報告☆

「サツマイモ植え」

五月七日

五月七日に行われたサツマイモの苗植えは、暑くも寒くもない絶好のコンディションの中で実施することができました。

作業前にはマルチの張り方の指導を受け、その後、苗が根付きやすい「斜め植え」で計七五本の苗を植えました。各寮とも作業が順調に進み、予定して時間よりも早く終わらせることができました。その後、畑まわりの除草をして活動を終わることができました。生徒たちは、普段の授業では見せない表情で、一生懸命に活動しており、充実した体験ができ、今から秋の収穫が楽しみです。

特に三年生は、理科の時間に無性生殖や栄養生殖の学習をしており、実体験でのサツマイモ植えは、深い学びにつながったと思います。

「田植え」

五月二一日

昨年度に引き続き、新型コロナウイルス感染症対策が叫ばれている中でしたが、生徒及び学園・分校職員一丸となって田植えを行いました。全員が横一列となり、順調に生長してくれた苗を植えました。初めて田んぼに入る生徒は泥の感触にたじろぐ場面も見られましたが、徐々に慣れ、泥まみれになりながらも一心不乱に植えることができました。また、経験者は慣れた様子でスムーズと取り組めました。しかし、途中から生憎の雨天となり、二四日に順延せざるをえませんでした。二四日は幸いにも天候に恵まれ、予定していた一面全てを終えることができました。今後に向け、さらに自然への畏敬の念や食への感謝の気持ちをもつことができましたと感じています。学園・分校職員、生徒が一丸となる行事の重要性を改めて認識することができ、収穫への期待を膨らませています。



「春の遠足」

五月二八日

今年の遠足は渡良瀬遊水地と道の駅みかもへ行きました。渡良瀬遊水地は、栃木県の南端に位置し、栃木・群馬・埼玉・茨城の四県にまたがる面積三三キロ平方メートル、総貯水容量三億立方メートルの日本最大の遊水地です。ハート型が特徴的な谷中湖の周りを約二時間、休憩をとりつつハイキングしました。天候にも恵まれ、晴れやかな気持ちで臨むことができ、道中では様々な生き物を見つたり、きれいな富士山が見えたり、県境を越えて歩いたりと普段は出来ない体験がたくさんできました。そして一生懸命歩いた後、広々とした原っぱで昼食をとりました。ハイキング終盤では疲れが見えている子もいましたが、豊かな自然の中で食べるお弁当はいつも以上に特別に美味しく感じられ、疲れも吹っ飛んだようです。最後の道の駅みかもでのお買い物は、限られたお小遣いの中で何をかうか頭を悩ませながら、思い思いに好きな物を買って食べて楽しむことができました。子供達の生き生きとした姿が見られた一日でした。

☆部活動報告☆

「女子水泳部」

今年度の女子水泳部は、六月九日

から始動します。今年度は、中学生八名でスタートします。水泳部のスタートにこんなに人数が揃うのは久しぶりです。昨年度あるいは一昨年度、水泳部を経験した児童が半数いることは心強く、みんなで気持ちをひとつに頑張っています。

いつも水泳部はきつい、つらい、苦しいと消極的な意見ばかりがささやかれます。特に梅雨時期の寒さは地獄だとまで受け継がれています。今年度、初めて水泳部を体験する児童は、夏が来るのを戦々恐々と構えているようです。ただ、昨年度を知っている児童を中心に、表彰台を目指し、部活全体に刺激を与えてくれるような泳ぎを期待したいと思えます。そして、切磋琢磨しながら泳ぎ、夏が終わった時、頑張った良かったなど自分自身を認められるような夏にしたいと思えます。

梅雨の寒さに負けず、夏の暑さに負けず、雷にも負けず、水泳を通して、心身共に磨かれるよう、女子寮職員一同体力の衰えに負けず、頑張っていきます。

「野球部」

二月からスタートした野球部も、ついに最終目標である、関東少年野球大会に出場してきました。今年度は経験者が少なく、基本的な練習メニューの反復ばかりでしたが、子供達は必死に練習に取り組んでいました。大会では今まで見たこともない

ような立派な球場に試合前から興奮していました。試合は神奈川県代表のおおいそ学園に二対七で惜しくも敗れてしまいました。ただ、内容を見ると要所で子供達の成長を感じられる場面が多くありました。試合後に涙を流す児童も見られ、これまでに真剣に取り組んできた証だと感じました。

子供達には日頃から、『応援されるチームになる』と声をかけてきました。そのためには野球だけではなく、寮生活、分校生活から頑張ることが必要だと何度も何度も伝えてきました。単に野球の技術だけを学ぶのではなく、那須学野球部の経験を通して今後の人生に役立つ力をつけられたらと思っています。



「吹奏楽部」

那須学園では、毎年児童が職員と共に演奏をし、達成感を味わい、協調性を養うことを目指し吹奏楽の活動を行っています。昨年度は新型

コロナウイルス感染症拡大防止の観点から、演奏する機会が限られてしまいました。今年度演奏ができるならば心のこもった演奏を届けたいです。

今年度は六月から吹奏楽部の活動が始まりました。昨年同様ソシヤルディスタンスをとり、少人数に分けて、今できる練習を進めていこうと思います。楽器を吹く難しさを楽しみ、合奏の達成感を、子供達が例年以上に感じられるように、工夫をしていきたいです。関東少年文化祭で演奏ができることを願って練習頑張ります。

今後の予定

七月 二日

一六日

一九～二〇日

漢字検定
流しそうめん
海浜学習

編集後記

令和三年度の学園だより「なすび」は福田・野澤・根本が担当させて頂きます。日頃から学園の運営にご理解とご協力を頂いている皆様、子ども達の活動や生活の様子をお伝えしていきたいと思えます。今年度もどうぞよろしくお願いたします。

育成課

福田・野澤・根本